

蓮の川

2020. **3**

MARCH



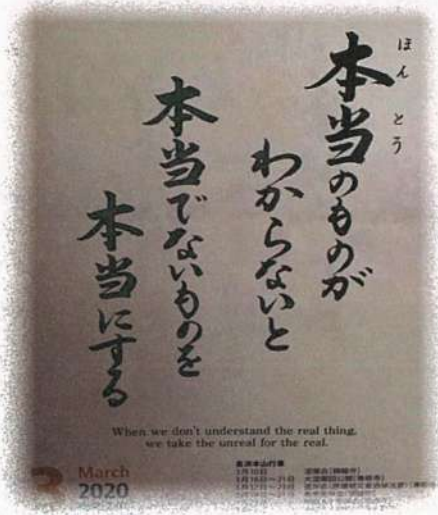
今回の内容は

- ◆ 若院よりご挨拶
- ◆ 重要なお知らせ
- ◆ 行事報告
- ◆ 妙善寺非僧非僧（ひそひそ）話
- ◆ 法名のお話
- ◆ 各種お知らせ

vol, **4**



妙善寺若院
菅原 賢史



妙善寺ご門徒の皆様、有縁の皆様、日頃より妙善寺の護持運営にご協力いただきましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。さて、世間では新型コロナウイルスの感染拡大で先行きが見通せず、大変なこととなっております。今回、お亡くなりになられた方に衷心より哀悼の意を表しますとともに、現在も闘病中の方々にお見舞い申し上げます。

妙善寺を取り巻く環境においても、今回のことで少なからず影響が出だしております。後にご報告いたしますが、様々な行事の延期、中止という判断をしております。お寺という環境には特にご高齢の方のご参詣も多く、安全面を考えると仕方のないことであると承知しておりますが、このような不安を抱えるときこそ、ご法義(仏様のみ教え)にあっていただきたいと思う心も持ちつつ、ひとまずは一刻も早く自体が収束することを願うばかりです。

今回のことで改めて感じるのは、目に見えないもの、未知なるものに対して、私達は不安や恐怖を持ちやすく、その不安や恐怖をもとに、不確かなものに右往左往してしまうものであるということです。ちょうど3月の法語カレンダーの「本当のものがわからないと、本当でないものを本当にする」という言葉が我が身に染み入ります。そのように移ろいやすい私達だからこそ、放っておけんとお念仏のみ教えを通して、本当のものに出遭って行けよと阿弥陀さまに願っていただいているのです。

かぜをひくとせきがでる

さいちがごほうぎの かぜをひいた ねんぶつのせきがでるでる

上記は、妙好人(みょうこうにん)と呼ばれるお念仏のみ教えを喜ばれる生活をされていた方のお一人、島根の浅原才市さんの残された言葉です。風邪やウイルスは目には見えませんが、咳や発熱といった症状が出て初めて原因がわかります。阿弥陀さまのはたらきも目には見えないものですが、お念仏として私のもとに至りきて、いつの間にか私の口から「南無阿弥陀仏」とお念仏の声が出てきている。これはまさに、先立つ命や有縁の方々のお導きで私のもとに阿弥陀さまのご法義が届いていたということを表しています。どうぞ不安多き中こそ、お念仏申す日々を共に過ごしてまいりましょう。



合掌

重 要 な お 知 ら せ

田代組巡番大法要について（延期）

3月27日～30日の4日間にかけて基山町専念寺様にて開催を予定しておりました田代組巡番大法要は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期となりました。開催の時期に関しては、あらためてお知らせいたします。現在、5月末から6月頭にて調整中です。

ご門徒の皆様には、ご懇志のご協力をいただきありがとうございます。皆様からお預かりいたしましたご懇志に関しては、規模の大小や時期などどのような形になっても大法要自体は開催いたしますので、専念寺様にお預けし、ご法要にご活用いただくようにさせていただいております。

妙善寺春季彼岸会（中止）

3月22日～24日の3日間で開催予定でありました妙善寺春季彼岸会は、現状を鑑みて中止とさせていただきます。大変申し訳ございません。

ただし、お彼岸期間中（3月17日～23日）に関しては、本堂も開放いたしますので、ご自由に参詣ください。納骨堂に関しては平時より、常時開放しております。

彼岸期間中は時間は設定いたしません。若院の方で本堂、納骨堂ともにしっかり読経させていただきます。

花まつり（中止）

4月5日（日）に開催予定でありましたお釈迦さまのお誕生日をお祝いするとともに小学校へご入学される新一年生のお子様のお祝いを兼ねた「花まつり」も諸般の事情を鑑みて中止いたします。

新一年生になるお子様、お孫様のいらっしゃるご門徒の皆様には、ささやかな記念品をご準備いたし、お届けいたしますので、3月中にお寺までご連絡いただき、お子様のお名前、性別、保護者のお名前をお知らせくださいますようお願いいたします。

昨年は若院の手作りインドカレーが好評で、今年も振舞うべく、楽しみにしておりましたが、また今後お子様の集まれるような機会を作ってまいりますので、よろしく願いいたします。

1月～3月 行事事報告

除夜会・修正会

大晦日から新年にかけて除夜会、修正会を行いました。本年は天候にも恵まれ多くのご参詣をいただきました。近年、お向かいの神社においても、豚汁の振る舞いなど催しに力を入れており、相乗効果でたいへん賑やかになっております。また、毎年その年にちなんだ「〇音」という駒札をお配りしています。今年は大方の予想通り「令音」でした！



御正忌報恩講 (1月14～16日)



親鸞聖人のご命日法要である御正忌報恩講を、本年も親鸞聖人のご命日(1月16日)にあわせて3日間執り行いました。多くのご参詣をいただきありがとうございました。また、今年からの取り組みとして親鸞聖人の御一代記である「御伝鈔」を若院が全編拝読いたしました。所要時間は約1時間半。汗 内容も昔言葉でわかりにくいところもあるのでこっそりと一人での拝読といたしましたが、内容等が分かるような工夫をして、ご門徒の皆様にも聞いていただけるよう来年リベンジいたします！

総代世話人研修旅行 (2月17日)

妙善寺の護持運営に多大なご尽力をいただいている総代世話人の皆様、仏教婦人会の皆様にご参加いただき、日帰り旅行に行ってまいりました。例年は、一泊でしたが若院のわがままで参加しやすい日程にいただきました。

今回の行き先は、柳川でした。まずは研修?を兼ねて、手作り醤油体験を行いました。出来上がるのは、約1年後で、定期的に簡単な手入れをしなければなりません、ズボラな若院にはちゃんとできるか自信がありません。。。

そのあとは、お宿にて懇親会とお風呂を楽しみました。来年の巡番大法要において、総代世話人の皆様、婦人会の皆様には、ご足労おかけする1年になると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。そして、お世話いただいた会計の篠原浩二さん、ありがとうございました！



1月～3月 行事事報告

ビストロ MYOZENJI (2月11日)

妙善寺の門徒会館厨房リニューアルを記念して行ったお食事会「ビストロ MYOZENJI」でしたが、おかげさまで定員を超えるご参加をいただき大変好評のうちに、終えることができました。正直、お寺に有料で来ていただくイベントでしたので、あまりご参加いただけないのではないかと、不安もありましたが、今回ご協力いただいたボヤージュの高尾さん、ひげぶたの安藤さんら料理人のご協力もあり、良い意味でお寺らしからぬ非日常を美味しく、楽しく過ごすことができました。

そして、運営委員の齋藤傳さんには、生ビールの差し入れを頂きました！ いつもありがとうございます！

また、定期的を開催したいと思いますので、その際は是非ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。



おてらおやつクラブ

1月と3月の2回にわたって、おてらおやつクラブを通して、佐賀県を中心として子育て支援活動を行っている団体様へ皆様からのお供え物のおすそ分けをさせていただきましたのでご報告いたします。

先方からは、「季節を感じるようなお菓子などもあり、お子様のみならず、ご年配の御家族のいらっしゃるご家庭などにも大変喜ばれました」と、ご報告をいただいております。今後も引き続き、お供え物のおすそ分けの取り組みを行ってまいりますので、ご協力、ご支援の程よろしくお願いいたします。



妙善寺 非僧非僧 (ひそひそ) 話

シンボチ「然」の成長期

今月3月で、1歳4ヵ月となります。なかなか時間が取れずまだ1歳の記念写真も撮りに行けておりません。。今月の目標は、記念写真を撮る！です。

今月の寺報で歩くようになりまして！とご報告できると思っていたのですが、もう少し先になりそうです。

その代わりに、少しずついろいろなことを理解できるようになっているようで、お客様が来たら、頭を下げてご挨拶、お帰りになる際は手を振ってバイバイ、ご飯を頂くときには手を合わせ合掌していただきます、ご馳走さまをするようになりました。お利口ですね～、誰に似たんでしょうかね？

新発意「然」の日々の成長に喜びを感じる毎日を過ごしております。



皆さんから頂くイチゴと海苔が大好きです。いつもありがとうございます



最近廿の子に間違われます。髪の手切らないと、。。



手塚会長のご紹介

フリーペーパー月刊TOSSの今月の特集に妙善寺の総代会長である手塚さんが載っていました！

手塚会長は妙善寺の総代会長として、お寺の護持のためにお忙しい中に日々ご協力をいただいております。そんな、手塚会長のもう一つの顔はサガン鳥栖のサポーターです！

しかも、ただのサポーターではなく、アシストクラブというサガン鳥栖の試合を運営するボランティア活動を行っておられます。

一番大好きなチームの試合を横目に、チケットのもぎりや、ごみの回収など、試合がスムーズに進むように縁の下の力持ちを買って出てくださいています。

ただ、ビール片手に審判や相手にヤジを飛ばす私のようなものからすれば、ただただ、頭の下がる思いです。そんな姿は、お寺においても同じです。いつも思い付きであーだ、こーだ、言ってしまう私のことを、常に尊重しサポートしてくれます。来年16年に1度巡ってくる巡番大法要を手塚会長のもと、大成功だったと笑えるように、この1年ますます精進してまいります。



カミングスーン

只今、妙善寺ホームページ作成に向け、業者様のお力をお借りしながら、ポチポチとやっております。皆様にタイムリーな情報や必要な情報をお届けできるよう精査しておりますので今しばらくお待ちください。

目標はゴールデンウィークくらいかな。。。



法名のお話

この1年、お寺の法務を行う中で一番緊張することは、やはり葬儀を行うことです。人ひとりをお見送りするということは、ご家族に先立たれた経験のあらわれる方なら、どなたもその大変さが分かることだと思います。その中でまだまだ若輩者である僧侶の立場として、何より難しいことが「法名」を付けさせていただくことです。多くの方が私とは比べ物にならないくらい人生の先輩であられるのに、お名前を付けるなどおこがましい、、、という気持ちで、謙虚に、しかし、その名前を付けさせていただいた願いが伝わるようにと心を込めて名付けをさせていただいております。そこで「法名」とは何か?についてのお話です。

現在、お通夜の機会にてご法名の意味とそれぞれのお名前についての説明をご遺族にお渡しさせていただいております。その中で法名については以下のように説明いたしております。

「法名」とは、仏法に帰依し、お釈迦さまの弟子となった者の名前です。「釋〇〇」と表します。法名は漢字二字とし、お釈迦さま(釈尊)の一字をいただいた「釋」の字を上冠します。浄土真宗では法名といい戒名とはいいません。戒名とは、受戒して厳格な戒律を守って修行する人びとにつけられる名です。戒律の一つも守ることのできないこの私たちを必ず救い、浄土へ迎えるという阿弥陀さまのはたらきを「法」と呼びます。ありのままの生活の中で「法」を聞きひらき、その中に生きる仏法者となることを表す名前です。

本来であればお釈迦さまのお弟子として仏法に帰依する生活をおくる者の名乗りですので、亡くなってから付けるお名前という訳ではありません。ましてや、お名前の良し悪しや、どんな文字を使ったから素晴らしいとかお値段が高いなどというものでもありません。そもそも浄土真宗においては「法名」を付けるにあたって、料金が発生するということはありません。



ただし、正式には浄土真宗本願寺派のご本山、本願寺にて、ご門主様(本願寺のご住職)のもとで、帰敬式(ききょうしき「おかみそり」とも言う)をうけて生前に頂くものです。そのように生前に本願寺にてお名前を頂かれた方は「龍谷賜號 釋〇〇」(龍谷山本願寺よりいただいた法名であるとの意味)と表します。(＊本願寺にて帰敬式「おかみそり」を受ける場合は、成人1万円、未成年5千円のご懇志が必要です)

ちなみに、児童念仏奉仕団で京都に行かれた参加者の皆さんなんかは、きっと、ご法名をいただいているはずですよ。私若院は、帰敬式とは別に僧侶にならさせていただく儀式、得度式(とくどしき)にてお名前をいただき、法名は釋賢史(しゃくけんし)と申します。そうです、本名を音読みしただけです。このように、事前に申し込み(2か月前)をすれば、希望のお名前で法名(内願法名)をいただくことができます。事前に妙善寺までご相談いただき、こちらでお名前を考えることもかまいません。

亡くなってから、お名前考えるの大変だからいやだな～、という訳では決してなく、日常生活を送る中に仏法に出遭い、法名とともにお念仏申す人生を歩むことを願い、ひとつのご提案でした。ご門徒の皆様と本願寺参りをし帰敬式を受けることのできる日を夢見ております。



おけいこコーナー

書道教室

毎週火曜日 13:30~17:00
(お寺行事と重なるときは休みの場合あり)
先生:古村 青霞先生
(題字ほうりん、妙善寺マッチ、うちわなど作成)

お月謝:2,000円 所属:西日本新聞書道会



苦節数年、若院は何とか七段まで昇段しました!これも先生の指導の賜物です!
初回の体験・見学は無料で、随時歓迎いたします。皆様もぜひ一緒にお習字やりましょう!!

ヨガ教室

月二回開催
(開催日はお寺までお尋ねください)
時間:9:30~10:30

会費:一回500円

先生:松隈美穂先生



最近参加者が増えてまいりました。老若男女、どなたさまでも、ご参加できます。ご参加ご希望の方はお気軽にお寺までお問い合わせください。

妙善寺より皆様へのお知らせ

1月の総代会にてご報告させていただきましたが、役員会、運営委員会にて議論を重ね、妙善寺門徒会への入会金を以下の通り改定いたしました。本年1月より適用いたします。様々なご意見もあるとは存じますが、より社会に開かれた寺院になるよう精進いたしてまいりますので、何卒ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

妙善寺門徒会 入会金

改定前 23万円 → 改定後 10万円

※門徒維持費12,000円、納骨堂維持費1,000円
(納骨堂門徒外2000円)には変更ありません

令和2年度お盆参りにについて

令和2年のお盆参りスケジュールについては、7月総代会にてお知らせいたします。本年は、現状を踏まえ、他の御寺院様よりお盆期間のお手伝いをお願いすることも検討いたしております。その点も含め、ご理解の程よろしく願いいたします。

なお、初盆にあられるご門徒様宅へは、5月初旬に日程についてのご希望をお便りにて伺いさせていただき予定にしております。皆様のご希望を調整いたしまして、日程を確定いたしますので、今しばらくお待ちいただけますよう、よろしくお願いいたします。

浄土真宗本願寺派 宝林山 妙善寺

〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1073

TEL:0942-82-2816

FAX:0942-82-9669

メール:sugantosu@vesta.ocn.ne.jp

※寺報へのご意見やお写真のご提供などもお待ちしております。